

平成 23 年度

予算編成にあたって

平成 23 年度の予算は、歳出面では、社会保障関係費をはじめとする扶助費等が近年予測以上に増大し、公債費も数年後にはピークを迎えること、歳入面では、現在の経済情勢の中で税収の持ち直しが見込めないことから、非常に厳しい予算編成となり、財源不足が生じないよう、各種基金の効果的な活用を検討しています。

こうした中、本格的な活用が検討されている合併特例債事業は、本市総合計画の基本目標「活力ある住み良さ創造都市」実現のため、必要不可欠なものを厳選し実施してまいります。

また、災害に強いまちづくりの一環として、地域の防災意識の向上や、山口国体・山口大会の開催による地域の一体感の醸成等にも重点をおいた予算編成を考えました。

国においては「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」として機動的対応と新成長戦略の推進・加速により、雇用を下支えしつつ、デフレ脱却と景気回復に向けた取組みをしています。

本市も、こうした国の動向を注視しながら、補正予算として公共施設改修の前倒しや学校図書購入の追加を行い、切れ目のない事業の発注で景気・雇用対策を実施しているところです。

新年度の予算編成にあたっては、経常的経費は一般財源ベースでの枠配分方式による編成を行い、各部局の創意工夫により歳出一般財源の節減を図りました。また、臨時的経費については新規事業は、後年度の負担等も考慮したうえで慎重な採択を行い、継続事業は、今一度事業の再評価をし、規模の縮小等も検討しました。しかし、事業厳選の結果、一般会計は前年度比 10.1%増の伸び率となりました。

「最少の経費で最大の効果を挙げる」という理念に基づき、職員一同努力してまいりますので、市民のみなさんのご理解、ご協力をお願いいたします。

山陽小野田市長 白井博文



問い合わせ先

財政課

(☎ 82-1131)